

みかわさ

2014年2月

第50号

浄土真宗本願寺派
福岡教区御笠組



苦行と苦行の放棄

(パキスタン・ガンダーラ) 3~4世紀 『ブッダ展』より

城を出たシッダールタ王子は、髪を切り、みすぼらしい服に着替え森林で修行者としての生活に入りました。二人の師の許で瞑想法を学び、すぐに師のもとを離れ、五人の仲間と厳しい苦行生活に身をおきます。しかし、断食を行じめ心身を極限状態に追いつめる苦行でも、悟りの境地に至ることはなかなか困難でした。

ある時彼は、極端な苦行や快樂を離れた「中道」こそ悟りへの道であると気づき、ついに苦行を捨てました。尼連禪河で沐浴をした後、偶然出会った村娘スジヤーターの差し出す乳粥ちちがゆを食べ体力を回復した王子は、いよいよ悟りの場へと向かいます。その様子を見ていた五人の苦行仲間は、彼から離れていました。

画面右から順に、苦行中の王子の姿（苦行の釈迦）、尼連禪河での沐浴（足元に水の流れを表現）、女性からの乳粥の供養が描かれています。なお、仏伝によつてはスジヤーター（あるいはナンダバラ）ではなく、二人の女性が乳粥を捧げたとも記されています。

題字：小山実千代（伯東寺坊守）解説：中川正法（西蓮寺住職）

明福寺門徒総代
政住 光(釋光峰)
二〇一二(平成二十五)年
十月二十六・二十七日明福
寺にて巡番報恩講
法要を執り行いました。
りましては、明福
寺門徒の方々のご
協力と、御笠組内
の住職並びに寺院
関係者、それに組
内各寺門徒の沢山
のご参詣を頂き、
厚く御礼申し上げ
ます。



明福寺門徒総代
政住 光(釋光峰)
二〇一二(平成二十五)年
十月二十六・二十七日明福
寺にて巡番報恩講
法要を執り行いました。
りましては、明福
寺門徒の方々のご
協力と、御笠組内
の住職並びに寺院
関係者、それに組
内各寺門徒の沢山
のご参詣を頂き、
厚く御礼申し上げ
ます。

録では、一七六二(宝暦
十二年に勤められた記録
がある。そこで、このように長
い歴史のある御笠組巡番報

恩講を、今後も大切に続け
て行われることを念じてい
ます。

巡番報恩講法要を終えて



坊守会長 中川 将子
御笠組仏教婦人会長会の募
金活動に坊守会からも会長と
副会長が参加しました。小雨
降る一月三十日午前九時から
約一時間JR二日市駅での活
動でした。

街ゆく人々の大震災支援へ
の関心は高く、若い方から年
配の方まで幅広い年代の方に
ご協力いただき、感謝の気持ち
で一杯でした。

募金箱はそのまま福岡教堂
に届けられ集計が行われまし
た。総額二万八千四百五十六
円の知らせに、仏婦会長の皆
様とともに喜びを感じてお
ります。

**東日本大震災
支援金募金**

~大切な人を送る時、私たちができること~

ご葬儀を真心込めてお手伝いします

有限会社 筑紫葬祭

葬祭式場 セレモニー 筑紫

本社/〒818-0072 福岡県筑紫野市二日市中央3丁目2-21
TEL 092-925-4444(代)
セレモニー筑紫/筑紫野市塔原東4丁目3-5 TEL 092-924-5177



お仏壇の よーかど

お仏壇・仏具のご相談はお電話を!

筑紫野市二日市中央通商店街
☎092-924-1111



法統継承式について

西福寺住職 和田法明（釋法明）

2013（平成25）年4月15日、立教開宗法要（春の法要）後、大谷光真ご門主様は、2014（平成26）年6月5日をもって本願寺住職並びに門主を退任されることを宣言されました。

第二十四代ご門主より現本願寺嗣法、新門であられます大谷光淳様へ、第二十五代門主の法統が継承されることになります。

法統とは「本願念佛の法義が次世代へ受け継がれる」ことであり、それは善知識であられる歴代の宗主方によって、世代をこえて受け継がれてきたご法義相続の歴史であります。

本願寺のお代がわりには代々譲り状によって継承されたといわれている。しかし、前回（第二十四代継承式）より譲り状に代わるものとして、ご譲渡式（非公開）が行われた。

この式のなかで、御影堂の御真影（親鸞聖人像）のお厨子の「御鍵」、宗派のご門主本願寺住職の公的な「御印」および紫の色衣の「御衣体」が譲渡されました。

今回も6月5日閉門後、本願寺に於いてご譲渡式が予定されています。

「御鍵」について少し申しますと、お厨子の扉は毎日閉門前に鍵を開け閉扉し、日没勤行後に閉扉し鍵をします。その業務は当直（宿直業務）の侍真がご門主様のお手代わりとして開扉閉扉の責務を勤めお厨子の御番をしています。私も本山に奉職中は宿直業務がありましたので、当直の侍真と一緒に御番をさせていただきました。しかし元旦の朝と御正忌報恩講の1月9日の連夜前にはご門主様みずから須弥壇にのぼられ、お厨子の扉を開ける「ご親開」をされます。この儀式は歴代門主に代々継承されました。即ちご門主様は今年の御正忌報恩講で最後の「ご親開」を執行しました。私も参拝させていただき尊いご勝縁を賜りました。

この度の法統継承式は、お念仏のみ教えをいただく私たちが、さらに多くの方々へ伝え広めるための大きな一步として、意義あるものとなりますよう共々に努めて参りたいと思います。

JA筑紫 誠心誠意を大切にします。もしものとき…

筑紫農業協同組合 (JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館)

〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南2-1-3
TEL(092)924-3027/FAX(092)928-1394

組合員・NEWにじの会 会員募集!!



漆 歴史と伝統の技で創る…仏壇・寺院用品

(株)福岡 仏掌堂

〒815-0075 福岡市南区長丘1丁目9-1 TEL(092)561-7070㈹
FAX(092)561-8463

[工場・夢工房] 福岡県八女市室岡1299 TEL(0943)24-2110

仏婦・若婦合同バスハイク

九月三十日に仏婦・若婦合同バスハイクに参加させて頂きました。最初に、八代の勝明寺さんにお参りさせて頂きました。立派なお寺で門徒会館のあちらこちらに飾つてある、坊守様が作られたパッチワーカや、さげもんが印象的でした。

お斎も用意して下さつており、思ひがけないおもてなしに、今回頂いたご縁のありがたさを実感すると共に、おかげまで日々生かさせて頂いている私に改めて気づかされました。そのお斎のおいしかったこと!! 勝明寺さんに別れをつけ、次は熊本城に向かいました。本丸御殿は藩主の居間や対面所などがあるため、各部屋の装飾も煌びやかで見どころ満載でした。天守閣には、仏婦の方たちとお互いのお尻を持ち上げて励まし合いながら最上階まで登りました。天気も良く、最上階からの眺めは熊本の街が一望できる大絶景でした。帰りは、馬刺しのお店のぼりを横目に帰路につきました。あの時馬刺しを買えなかつたことだけが心残りです。その日の夕食は馬刺しの予定だったのにー!! 馬刺し食べたかつたー!!

今回のバスハイクは、普段接することがない、仏婦・若婦の方たちとも交流を深めることができ、また組外のお寺さんの様子も拝見でき、有意義な時間を過ごせました。またぜひ参加したいと思いま



むさし苑清掃奉仕活動

正栄寺 伊藤 絹子（釋絹翠）

仏教婦人会では十二月十一日（水）午時～十三時半、特別養護老人ホームむさし苑において清掃奉仕をいたしました。この活動は一年に一回させていただいております。

この日は、仏教婦人会三十四名でむさし苑の一階から四階の廊下や窓や共有スペース等の清掃。厨房の換気扇清掃や車椅子の拭き掃除をさせていただきました。今回はこれまでと違つて個人部屋の清掃はありませんでした。担当者によると「利用者のなかには、プライバシーや非日常な環境に戸惑いや不快感を持つ方もいらっしゃるから」とのことでした。

清掃が終わると、むさし苑代表の方からお礼のことばと共に「来年もよろしくお願いします」の言葉も頂きました。

私たちも皆さんは喜んで頂いたことに感謝いたします。

念仏奉仕団

来光寺門徒 大藪 晶代（釋敬聞）

十月七日八日念仏奉仕団に参加、本山への念仏奉仕団発足以来六十年の節目とのことで全国よりの参加者は多く、三回二十五回等回数を重ねられた方々への表彰式もありました。恥ずかしい事に今まで私は仏婦や研修会等上山の機会はありませんでしたが念仏奉仕団としての参加は初めて、病弱な兄夫婦の本山で帰敬式を受けたいと言う切なる願いに同行した次第です。今回全国の御同行の皆さんと膝をつき合せての御影堂の畳拭きなど、ささやか乍らご奉仕させて戴けたことは嬉しく感謝の念はつきません。

来光寺奉仕団の皆様の助け合い、又出発までの体力作りもありましてか平均年令も高めでしたが二十五名恙無く終えて、帰路の青蓮院・植髪堂や一休寺、九体寺等京都奈良の穏やかな風情と共に見聞を広め、尊いご縁に遇い生かされている身の幸いを体感し、この感動を行動にと思う秋となりました。

合掌





5年 梅田 玲居（伯東寺）
私は、御笠組子ども報恩講に参加しました。みんなで、もちをついて、こねたことが心に残りました。もちをつくときは、精一杯の力でいっしょうけんめいつきました。こねるときは、粉を手につけることを忘れていて、手がベタベタになつたけど、やわらかくて気持ちよかったです。もちを食べたときは、せんざいがおいしかったです。おろし大根で食べたときは、とてもからかったです。

お経をあげるときは、正座はきつかつたけど、上手に読めたのでよかったです。もっと上手によめるようになります。

みんなでしたゲームは、とても楽しかつたです。とても楽しい一日でした。

5年 梅田 玲居（伯東寺）
私は、御笠組子ども報恩講に参加しました。みんなで、もちをついて、こねたことが心に残りました。もちをつくときは、精一杯の力でいっしょうけんめいつきました。こねるときは、

粉を手につけることを忘れていて、手がベタベタになつたけど、やわらかくて気持ちよかったです。もちを食べたときは、せんざいがおいしかったです。おろし大根で食べたときは、とてもからかったです。

お経をあげるときは、正座はきつかつたけど、上手に読めたのでよかったです。もっと上手によめるようになります。

みんなでしたゲームは、とても楽しかつたです。とても楽しい一日でした。

子ども報恩講

子ども一泊研修

3年 石内 智貴（栄法寺）
ぼくは、はじめてキャンプに行きました。2はんになりました。

知らないお友だちともなかよくなりました。夜にはおつとめをしました。

こまつた事があつたら、ほとけ様におまいりをしましょうと言われました。

次の日は、たかのぶくんたちと川遊びをしました。たかのぶくんた

ちはカニをつかまえただけでぼくはつかまえられませんでした。でもぼくは川で貝を見つけました。うれしかつたです。

また行きたいです。

3年 石松 淳信（栄法寺）
七月二十四日と二十五日で、子ども一ぱくけんしゅうに、石内ともき君とさんかしました。さいしょ教円寺に行つて、開会式があり、おまいりをしてみんなで、いこいの森キャン

プ場に行きました。あつかったので、

に物はこびは、つかれけれど、キン

プファイヤーは、楽しかつたです。

次の日は、川でサワガニをとつてあそ

びました。水が、つめたくて気もちよかったです。おひるごはんを、食べ

た後、教円寺にもどりへい会式があ

りました。

私は夏休みに、みかさ子ども一泊

研修しゅう会に参加しました。出発前

は、どんな人に会えるのかと楽しみでわくわくしていました。

研修しゅう会当日、教円寺さんに行つてみるとあつたことのある人もいて、少しきんちょうしたのが楽になりました。

みんなとおつとめやウォークラ

リ、キャンプファイヤーなどをしま

した。前も一泊研修しゅう会で、ウォー

クラリーをしたことがありましたが、

私は今回のウォークラリーの方が自然

の中で動き回ることができたので、と

ても楽しかつたです。夜にしたキン

プファイヤー やゲームをしながら火の

熱さを感じることができました。

竹が入つた時にパーンと大きな音

がしておどろくありました。

研修しゅう会は一泊二日の短い時間で

したが、ふだんできない体験ができ

て、夏休みの楽しい思い出になりました。

5年 七里 弥名（正栄寺）
私は夏休みに、みかさ子ども一泊

研修しゅう会は一泊二日の短い時間で

したが、ふだんできない体験でき

て、夏休みの楽しい思い出になりました。

</div

本願力に
あひぬれば

……
4

聴聞で生かされていいる私

西正寺門徒 徳永邦博（釋果淨）

聴聞を通して救われている私も、我執の真只中に日暮らしをしています。釈尊は「生老病死」について常に悩み続けられインド北東部にあるカピラ城をあとにして厳しい修行の道へと進まれたと聞いています。私は今まで傲慢な自己中心的な考え方をしてきたことを聴聞を通して教えられてきたように思います。

浄土真宗の真実の教えにとりを救わずにおかぬとは、阿弥陀如来が私達一人ひとりを救わなければ、名ばかりの門徒ではなく、しっかりと信頼の教えを説かれた親鸞聖人の姿に立ち戻り、聴聞すれば、このような教えから真実の姿に立ち戻ります。毎日朝夕の勤行を通してお念佛により、この私が生かされていくものと思います。

『歎異抄』には「さるべき業縁のもよほさば、いかなるふまひもすべし」という一節があります。私達は縁があればなならないと思います。

どうなことでも、してか

すかも判らない愚かな存在であります。だからこそ、私達は多くの研修会や法座に加わり腹をわって悩みや喜びを出し合い、話し合つていけば真実の教えが身に付いていくのではないかと、ひとり勝手な思いをしているところです。

『仏說無量壽經』には「人間ほど浅はかなものはない。急がなくともよいことを急ぎ、争わなくともよいことを争つてゐる」と言われています。

近年は科学の進歩も著しく日本の美しい自然は開発という美名のもとに次々と破壊され大気、水の汚染をはじめ、東日本一帯の原発放射能による被害から、まだ完全復旧には充分とは言えません。また人ととの関わりが疎遠になり、不安といろいろな恐れをもたらしています。私はこのような現象の中에서도対応していくかを考えると、信心のあり方を見直し、我が心を冷静にした行動をしなければならないと思います。

そこで、私はわが家の親子関係の絆がどんなに結ばれていますか。最も不安のひとつです。幸い、本年の元旦は子ども達一家と孫たちも加えて曾孫まで交えた縁に恵まれました。ご仏壇を前にして如来さまや諸仏の方々への感謝がなぜ必要なのか、また念佛することの意味など私なりに話をすることことができました。十三名の者でしたが、その時

の一人ひとりの眼の輝きに、仏の智慧と慈悲をいたいた晴れやかな顔に遇わせていただき、この上のない私の喜びとなりました。このあとの勤行にも力が入り感動の一瞬を味わい、間もなく八十六才になる者として、子や孫への仏の慈悲が伝えられたようで、何にもまさるものはありませんでした。

さらに、今後は聖人のみ教えにもう一度立ち戻り、ご聴聞にもますます精を出します。また、短歌・俳句や絵はがき等をご紹介できたらと思っております。これからも、みかさ組報をよろしくお願い申し上げます。

西正寺門徒 徳永邦博（釋果淨）

合掌



おかげさまでみかさ組報50号刊行を迎えることが出来ました。発刊から25年、諸先輩から受け継がれたこの組報を思い、またこの組報を身を引き締められます。毎号大切に編集し読みやすい組報づくりを目指します。また、短歌・俳句や絵はがき等をご紹介できます。

積善社 筑紫斎場

太宰府市吉松4丁目6-1 (青葉台入口信号角)

0120-14-0789 (フリーダイヤル)

編集後記

初回相談無料
毎週月曜日・金曜日
午前8時半～午後6時
※弁護士が相談に応じます
相談専用電話
（092）71-61-034

○プライバシーは必ず守られます。
問い合わせ
福岡教区教務所
（092）77-119081

ピハーラ・ライン・福岡
こころの電話
【092】711-1432
毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く
午後1:00～午後4:30
プライバシーは守ります
(相談内容)
(浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会福岡支部)

ルンビニープラザ
お仏壇のコガ
太宰府店
〔駐車場完備〕
太宰府市都府楼南1丁目1-32 ☎(092)923-8080